

## 体位を改変したバルサルバ法で上室頻拍患者の洞調律回復率が 3.7 倍

上室頻拍に対し、「息こらえ」（バルサルバ法）による迷走神経刺激療法は、アデノシンなどによる薬物療法に先立つ治療として国際的に推奨されている。しかし、実地臨床での成功率は 5~20%と低い。従来のバルサルバ法は立位または半横臥位で行われるが、本研究では半横臥位でバルサルバ法を実施したのち、すぐに仰臥位で下肢を挙上させる改変法の有効性について、ランダム化比較試験を実施し検討した。

英国において、2013 年 1 月~2014 年 12 月に登録された 433 例を対象に、改変法群または従来法群に 1 : 1 で割り付けた。解析の結果、実施から 1 分後の洞調律回復率は、従来法群の 17%に対し、改変法群では 43%と有意に高かった(オッズ比 3.7;  $p < 0.0001$ )。重篤な有害事象はみられなかった。

したがって、体位を改変したバルサルバ法は、上室頻拍に対するルーチンの一次治療と考えられ、患者にも手技を指導することが望ましい。

出典 : Lancet. Published online Aug 24, 2015; doi: 10.1016/S0140-6736(15)61485-4